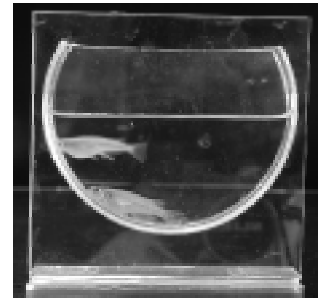


資料	メダカの形態観察には欠かせない
	メダカの観察水槽

メダカ成体の形態観察は、ヒレの位置の確認や雌雄の差など、じっくりと行いたい内容です。しかし、飼育している水槽では一度に多くの子どもが観察することができず、またピーカーなど曲面の多い容器では観察が困難です。

この水槽は、浅い樹脂シャーレの蓋の部分を利用して、メダカの動きの自由を制限し、じっくりと観察できるように工夫されたものです。

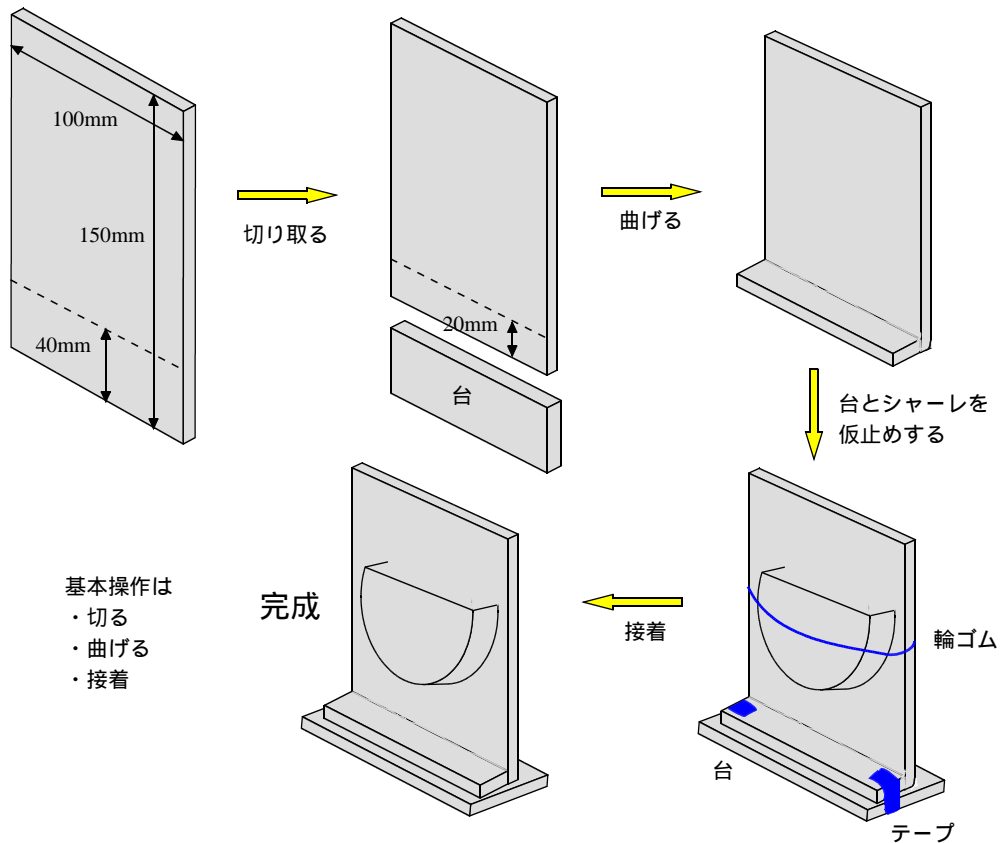


1 準備

アクリル板（155×100×2mm）、アクリル用接着剤、輪ゴム、仮止めテープ
アクリル曲げ器、プラスチックカッター、滅菌シャーレの蓋（90×20mm）

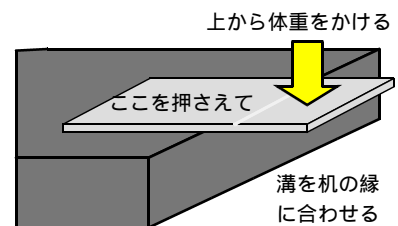
滅菌シャーレは500枚入りで¥7000程度。樹脂製で割れないため、使い勝手もよい。

2 製作



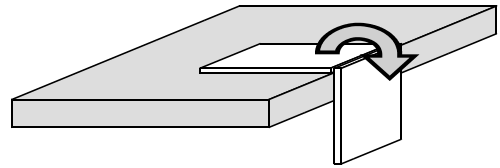
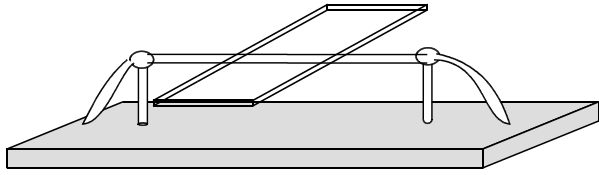
切る

- ・アクリル板をプラスチックカッターで5回ほど溝をつけ、机の端などに合わせて折る。



曲げる

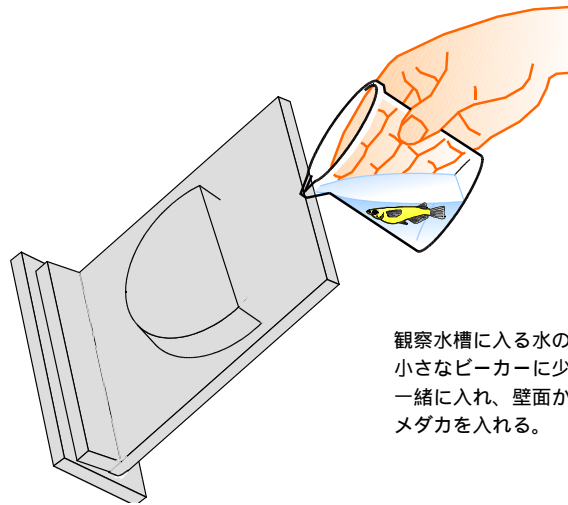
- ・曲げたい部分を加熱し，柔らかくなったらつけたい角度の面に押し当てる。
冷えればかたくなり戻らない。



接着

- ・テープや輪ゴムなどで仮止めし，接着部位にアクリル用接着剤を少量流し込む。

3 使い方



観察水槽に入る水の量は少ないので，小さなビーカーに少量の水とメダカを一緒に入れ，壁面から流し込むようにメダカを入れる。



ヒメダカ 雄



ヒメダカ 雌



水漏れの防止には

接着が不十分な場合など，水が漏れる場合があります。隙間が小さい場合は，透明のマニキュアを重ね塗りすることで防止することができます。また，右写真のようにフロッピーケースの一部を切断して薄型水槽を作るときの水漏れ防止にも透明マニキュアは役立ちます。

